

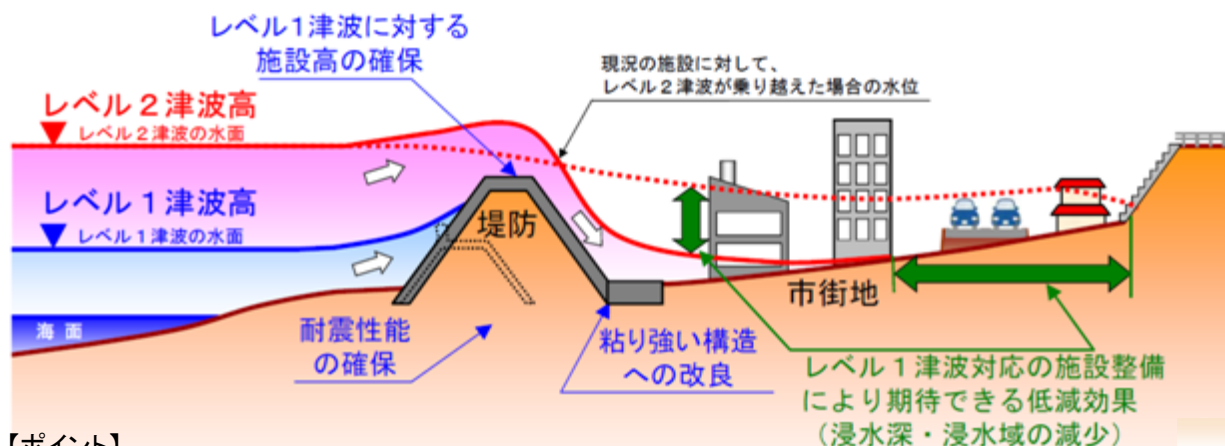
東海道どまん中

静岡県第4次地震被害想定 公表される！ 併せて 地震・津波対策アクションプログラム2013も！

平成25年6月27日、静岡県第4次地震被害想定が公表されました。今回の被害想定では、駿河トラフ・南海トラフ沿いと相模トラフ沿いで発生するレベル1^{※1}とレベル2^{※2}の地震・津波による震度分布や津波高、浸水域等の自然現象の想定結果と、その地震・津波による人的被害、物理的被害の想定結果や、災害対策を行ううえで重要な視点、タイミングを明らかにした被害・対応シナリオが取りまとめられています。

また、この被害想定において推計された被害をできる限り軽減するため「地震・津波対策アクションプログラム2013」が、併せて公表されました。アクションプログラムには、地震・津波に対応した151の重点施策を掲げられており、津波対策としては、レベル1の津波による人的被害を8割減少させることを目指すこととなっています。

(津波対策のイメージ図)



【ポイント】

- ※1) レベル1津波(比較的発生頻度の高い津波) ⇒ 津波対策施設の整備(ハード整備)により対応
- ※2) レベル2津波(最大クラスの津波) ⇒ 多重防御(ハード対策+ソフト対策)により対応

更なる安全度の向上策「静岡モデル」の整備推進に向けて

アクションプログラムでは、想定される最大クラスの津波(レベル2津波)への対応として、地域住民の合意など条件が整った地域では、既存の防災林、砂丘、道路の嵩上げ・補強等による安全度の向上策「静岡モデル」の整備推進が掲げられています。

7月24日に袋井土木事務所において、県内地域の先陣を切り、第1回「静岡モデル推進検討会(中遠地域)」を開催しました。

今後、当地域の実情に応じた静岡モデルの整備推進に向けた検討を行っていきます。



(検討会の様子)

7/29

掛川市

掛川市内の3団体と「しずおかアダプトロードプログラム」同意書を締結。

平成25年7月29日(月)に、掛川市内の3団体と「しずおかアダプトロードプログラム」に基づく同意書の調印式を、掛川市役所で行いました。調印式には、掛川市滝ノ谷区の戸田区長をはじめ、雨垂区の金原区長、株式会社大浜中村組の中村社長、掛川市の松井市長、袋井土木事務所の加納所長らが出席し、同意書の署名が行われました。

アダプトロードプログラムとは、住民や団体等が道路のある一定区間の清掃・美化活動を行い、県はその活動を支援していくことで、まちの美化を進めていく取組です。

新たに美化団体となった3団体には(主)掛川川根線ほか3路線で、除草やゴミ拾い、フラワーポットの維持管理などの美化活動に取り組んでいただきます。



左から加納所長、中村社長、金原区長、戸田区長、松井市長



- 掛川市滝ノ谷区
県道掛川川根線
滝ノ谷地区 L=1.700m
- 掛川市雨垂区
国道150号
雨垂地区 L=630m
- (株)大浜中村組
県道掛川大東線
県道相良大須賀線
大坂地区 L=1.109m

8/7

磐田市 今ノ浦川

磐田農業高校がリバーフレンドの仲間に加わりました！！

平成25年8月7日(水)に、『静岡県立磐田農業高等学校』とリバーフレンドシップ制度に関する同意書の調印式を、磐田市役所で行いました。調印式には、同校の滝井校長、磐田市の渡部市長、袋井土木事務所の加納所長らが出席し、同意書の署名が行われました。

リバーフレンドシップ制度とは、住民や団体等が川の清掃や除草等の河川美化活動を行い、県は活動に必要な物品を支給するなど支援を行うものです。

今回は、同校の環境科学科環境土木コースの生徒の皆さんが、授業の一環で、今ノ浦川の自然環境調査に取り組む中で、この制度の存在を知り、今回の同意締結に至ったものです。



環境科学科環境土木コースの生徒さんへ草刈機を支援

発行者・問合せ

〒437-0042 袋井市山名町2番1号
静岡県袋井土木事務所

(企画検査課)

TEL0538-42-3216 Fax0538-42-1782

e-mail : fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

HP/URL : <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/index.html>



編集後記

協働事業の準備会に参加しました。みなさんは、自分が住んでいる地域がこうなったら、もっといいのってところありますか？

今、生活しているみんなでよりよい地域にしていくことが大切だと感じました。それはまさしく「いっしょに、未来の地域づくり」ですね！！